

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

自分の興味のある分野を学んで、その施設や機材が充実していたり、また女子大学なので女性としての生き方をより深く学べるからです。他にもオープンキャンパスで困っていた時に先輩方が優しく声をかけてくださって、私もこのような人になりたいと思ったからです。

- (2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

1月の頃は、同志社女子大学を受験すると決めていなかったため、7月の英語検定に向けて、主に英単語を繰り返し覚えていました。古文については、朝課外に行っていたので、その中で学んだ文法を繰り返し覚えていました。

〔夏休み〕

英語はキク79=6000を使い、この覚え、家庭教師の先生に単語テストをお願いしたり、国語、主に古典はまず文法を基礎から覚えなおし、単語は600単語あるものを使っていました。付属のCDの音声を聞きながらの方法は覚えやすかったです。また、オープンキャンパスでいただいた過去問3冊を使い、問題慣れをしてみました。しかし、単語帳で単語を覚えるのは大変だったので、過去問で出たわからない単語を主に覚えていました。長文のお話のおかげで少しは覚えるのが楽でした。

〔2学期～入試直前〕

主に過去問を何度も繰り返し解いていました。英語についてわからない所は学校の先生にたずねて、文法や単語、それに関するミニ知識から、長文のお話の時代背景まで丁寧に教えていただきました。現代文や古典は、細かいミスとどうしたら無くせるかを中心に、家庭教師の先生にご指導していただきました。また、自習になる授業が多かったので、その時間も通学中はずっと単語帳を見るようにしていました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

高校の行事やクラブ活動が受験勉強に影響することはありませんでした。

普段からスマホをよく使い、時間を無駄にしまうことが多いので、その点に関しては苦労しました。

どうしても勉強に向かえないときはSNSなどを見ましたか、周りの人が自分よりとても努力していたので、焦りによって、通常よりはスマホを使う時間は少なかったと思います。

あとは、友達との何気ない会話はとても気が楽になります。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

自分の無力さで何度も落ちこんだけれど、自分を信じるのが大切だと思います。

入試当日、周りの人みんなが頭が良さそうに見えて、緊張するかもしれないけれど、単語帳を見て自分の努力をおもいだして頑張ってください！